

## 「きよねんの決算」(平成20年度決算の説明会) 要点録

日 時	平成21年12月12日(土) 10時00分～12時38分
場 所	島本町ふれあいセンター ケリヤホール
説 明 者	川口町長、森川教育長、島田総合政策部長、由岐総務部長、峯森民生部長 小西都市環境部長、水木上下水道部次長、黒田消防長、長谷川教育次長 西島議会事務局長、平田会計管理者
参 加 者	36名

### 1. 開会

**司会** 皆様おはようございます。それでは予定の時間となりましたので、ただ今から「きよねんの決算」の説明会を開催いたします。本日は、多くの皆様にご参加いただき、まことにありがとうございます。

皆様には、平素から町政運営の各般にわたり、ご理解・ご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。この場をお借りいたしまして、あらためてお礼申し上げます。

この説明会は、開かれた町財政運営をめざして、決算や施策について町長が直接、住民の皆様にご説明させていただくものです。

なお、本日の説明会の開催が会場の都合により12月になりましたことをお詫び申し上げます。また、「ことしの予算」説明会が都合により開催できませんでしたので、平成21年度の主要施策につきましても、併せてご説明をさせていただきます。

これからの予定でございますが、まず、町長からご挨拶をさせていただいたあと、平成20年度の決算概要及び平成21年度主要施策について、皆様のお手元にお渡ししております説明資料に基づき、歳入・歳出決算の状況をパワー・ポイントを活用して説明をさせていただきます。

続けて各部長からそれぞれの部が担当する主要施策をご説明させていただきます。

それでは、本日出席しております、特別職並びに各部長を紹介させていただきます。

**【町長をはじめ各部長の紹介。手話通訳の紹介】**

### 2. 町長あいさつ・説明

**司会** それではまず、川口町長からご挨拶申し上げます。

**【川口町長のあいさつ】**

### 3. 町の財政状況の説明

**司会** 続きまして、総合政策部長から、歳入・歳出決算の内訳などについて、パワー・ポイントを使って説明させていただきます。

**【平成20年度決算、財政状況の説明】** 配布資料1～6ページ参照

**【平成21年度予算の説明】** 配布資料20～22ページ参照

### 4. 各部局の主要施策の説明

**司会** 続きまして、各部長から担当する部の事業概要について、順次説明をさせていただきます。

**配布資料7～13ページ参照**

総合政策部の説明【総合政策部長】

<平成20年度決算>	<平成21年度予算>
人権擁護・平和施策の推進 男女共同参画の推進 個人情報保護の推進 第四次島本町総合計画の策定業務 (仮称)島本町まちづくり基本条例の検討 ISO14001の認証取得の拡大	「人権問題 名作上映会」の開催 第四次島本町総合計画の策定業務 (仮称)島本町まちづくり基本条例の制定 都市計画マスタープランの見直し

総務部の説明【総務部長】

<平成20年度決算>	<平成21年度予算>
勤務評定制度の構築に向けた試行評価の実施 昇任試験制度の導入 ホームページのリニューアル ホームページへのバナー広告の掲載 防災マップの作成 ふれあいセンターに指定管理者制度を導入	勤務評定制度の導入 地域防災計画の見直し 「しまもとガイドマップ」の増刷 「町勢要覧」の刷新

民生部の説明【民生部長】

<平成20年度決算>	<平成21年度予算>
地域福祉の推進 障害者施策の推進 妊婦健康診査の拡充 町立第二保育所の民営化の推進 「つどいの広場」事業の実施 介護保険事業の推進 介護予防事業の拡充 後期高齢者医療制度の推進 特定健診・特定保健指導の実施	母子福祉施策の推進 妊婦健康診査の拡充 「次世代育成支援対策行動計画後期計画」の策定 町立第二保育所の民営化の推進 介護保険事業の推進 介護予防事業の拡充 国民健康保険事業の運営

都市環境部の説明【都市環境部長】

<p><b>&lt;平成20年度決算&gt;</b></p> <p>住民地域環境調査の実施                  清掃工場、衛生化学処理場の維持・補修                  JR島本駅設置事業の推進                  阪急水無瀬駅バリアフリー化設備整備への補助                  交通安全の確保</p>	<p><b>&lt;平成21年度予算&gt;</b></p> <p>一般廃棄物処理基本計画の策定                  清掃工場、衛生化学処理場の維持・補修                  (仮称)尺代5号線の推進                  バリアフリー化の推進                  消費者相談の充実</p>
---	--

上下水道部の説明【上下水道部次長】

<p><b>&lt;平成20年度決算&gt;</b></p> <p>さく井の適正な維持管理                  浄水場ろ過池更新工事の実施                  公共下水道の整備                  下水道施設の耐震化等の実施</p>	<p><b>&lt;平成21年度予算&gt;</b></p> <p>水道施設の耐震化等の実施                  浄水場ろ過池更新工事の実施                  公共下水道の整備                  下水道施設の耐震化等の実施</p>
---	--

消防本部の説明【消防長】

<p><b>&lt;平成20年度決算&gt;</b></p> <p>救急救命士養成課程等への派遣                  消防団員幹部教養の実施</p>	<p><b>&lt;平成21年度予算&gt;</b></p> <p>傷病者の救命率の向上                  火災予防思想の普及啓発                  災害への対応力の強化</p>
---	---

教育委員会事務局の説明【教育次長】

<p><b>&lt;平成20年度決算&gt;</b></p> <p>第二小学校多目的室整備工事の実施                  第二小学校の給食業務一部民間委託の実施                  幼・小・中一貫教育の推進                  文化財保護事業の推進                  歴史文化資料館管理運営事業の推進                  史跡桜井駅跡整備事業の推進                  第一幼稚園の就労支援型幼稚園(幼保一元化)への推進</p>	<p><b>&lt;平成21年度予算&gt;</b></p> <p>耐震化を進めるための耐震診断の実施                  文化財保護事業</p>
---	--

**司会** これをもちまして、各部に係る説明を終わらせていただきます。

5. 質疑応答

**司会** それでは、皆様からのご質問、ご意見をいただきたいと存じます。なお、本日はできるだけ多くの皆様から、様々なご質問やご意見をいただきたいと思っておりますので、簡潔に要点を絞っていただきますようお願いいたします。それでは、ご質問をされる方は、職員がマイクをお持ちいたしますので、どうぞ挙手をお願いいたします。

**質問者** まず1点目に、平成20年度の決算において4億円ほどの基金の取り崩しがあるとのことでしたが、昨年の説明会で、3、4年ほどで財政が非常に厳しくなり基金が0になるという話を聞きました。清掃工場と、し尿処理施設の老朽化の話が出ましたが、老朽化施設にいくらお金がかかり、そのお金を使うと今どきようになるのかを教えてくださいたいと思います。また、今年の予算を決める際に議会でそのような話があったかどうかもお聞かせ願います。

2点目に、本年度から各部署でホームページの情報発信ができるようになったということですが、まだまだ情報の更新が遅れている部分が散見されますので、各部の部長・次長が各担当者に指示を出し、正確な情報発信をお願いしたいと思っています。同時に、広報紙やケーブルテレビを通じて情報発信を、いま一度お願いしたいと思います。

3点目に、都市環境部長よりバリアフリーの話がでましたが、設備だけではなくソフト面のバリアフリーも大切ではないでしょうか。設備面は、JR島本駅や阪急水無瀬駅などで整いつつありますが、交通安全の方のバリアフリーからいいますと、十分ではないと思います。島本町において歩道は自転車の通行は可能ですが、場合によっては自転車を降りて道を譲るといったルールになっていると思いますので、いま一度、広報紙やホームページを通じて住民へ交通安全の呼びかけをしてほしいと思います。

**総合政策部長** 予算・決算について、大きな視点からお尋ねいただきありがとうございます。先ほども説明させていただいた基金の取り崩しにつきましては、平成20年度においても4億4100万円の取り崩しを行っており、経常的な財政運営を行うにあたり、既にこれだけの歳入が不足しているという状況です。昨年の説明会では、このまま基金を取り崩していくと、平成27、28年ぐらいには基金が底をつくであろうと予測していると申し上げました。このため、現在、行財政改革を推進し、基金の取り崩しをできるだけ少なくするよう努めておりますが、歳入は増えないが歳出が増加するという現在の状況の中で、さらに改革を進めていく必要があると認識しています。

平成21年度の予算についても、既に7億円程度の基金を取り崩しています。こういった状況の中、ごみ処理、し尿処理、消防などは町単独で行っているため、非常にコストがかかっています。このため、まず、広域化の検討を行い、広域行政を推進していく必要があると考えています。まだ着手できていない部分もありますが、今後も広域行政の推進と、効率的な行財政運営に努めていきたいと考えています。

**総務部長** 2点目のご質問についてですが、平成21年4月から、各課でホームページの更新作業ができるようにしています。ご指摘の件については、情報量を増やしてより早くお知らせするため、十分指示してまいりたいと考えています。

また、広報紙やケーブルテレビについても、お知らせする必要がある情報について正しく、より早くお知らせするよう努めてまいりたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

**都市環境部長** 3点目のご質問についてですが、ご指摘のように、一人ひとりが思いやりをもつことが重要だと思います。最近、自転車の事故が増えています。町内には、自動車の通行が多いところは自転車も通行可能な歩道もありますが、歩道はあくまで歩行者優先ですので、ご意見のとおり、そうしたことを呼びかける広報をしなければならないと思います。島本町においては、歩道が整備されている道路は大変少なく、そのあたりも含めて、皆様に協力していただけるような広報を行いたいと考えています。

**質問者** 1点目に、町債の残高についてですが一般及び上下水道を含めると、この3月末で210億円の残高となっており、利子の支払額は約4.9億円となっています。今回、第四次総合計画基本構想では町債及び基金についてどのように想定されているのか、ある程度中期的なビジョンと、資金の支出に伴う町債と基金がどのようになるのか、教えてください。

また、特例債の残高が38億円ということですが、これについては国の財政支援があると書かれています。具体的にどのような形で町の財政に還元されてくるのでしょうか。

また、町債の情報の開示方法についてですが、一般会計という形と、上下水道という形で開示されているものがあると思いますが、一括して町としてのトータルの情報が開示されている方が住民にとっては分かりやすいと思うのでお願いします。

2点目に、町から毎年1.9億円程度の補助金を交付していますが、平成21年度予算を見ても、過去5、6年、固定的に補助金が支出されています。これについてはどのような根拠で交付されているのか、また、適正に使用されているのか、町としてどのように検証されているのか、というあたりについてお聞かせ願います。

3点目に、特別職の人員費について、平成10年度から17年度においては、6千万円から7千万円の支出がありますが、平成18年度から20年度においては約1億円支出があります。この

増加について、原因を説明願います。また、退職金給与引当金についてですが、一般会計と公共下水道事業を合算すると42.9億円になると思いますが、これは正しいのかどうかについて確認願います。

4点目に、バランスシートについてですが、平成19年度分は開示されていますが、平成20年度分についてはまだ開示されていません。町としてこれからどのような方針でバランスシートの開示を進めていくのかお聞かせ願います。

**総合政策部長** まず、1点目の町債の残高についてですが、122億円のうち国からの財政支援があるものを除くと82億円となっています。また、基金は32億円となっています。今後の方針としては、町債を減らして、基金を減らさないという行財政運営を進めていきたいと考えています。また、総合計画においては、町債や基金について具体的な記載はありませんが、行財政改革について、全体的な取組みに関する方針を示しています。

また、財政支援の還元の方法ですが、事業の償還を行う際に、地方交付税等で財源を国から当ててもらおうということが主な内容です。

また、町債の情報の開示についてですが、一般会計と特別会計が分かれていることによってわかりにくいということでしたが、今後、情報の開示手法について工夫していきたいと思います。

2点目の補助金についてですが、平成16年度に補助金の見直しを行い、各団体で1割の減額を行いました。今後、性質や必要性を踏まえながら、補助金のあり方や事務事業の見直しについて、十分検討していきたいと考えています。

3点目の特別職の人件費が増加しているというご指摘についてですが、現在、毎年2ケタ台で退職者が生じており、退職者に対して基本的には2分の1の職員を補充するという方針に基づき、不足分については臨時職員や非常勤の職員を活用して行財政運営にあたっている状況です。そのため、職員の人件費については下がっていますが、特別職の人件費については増加しているという状況となっています。

**総合政策部次長** 3点目のご質問のうち、退職金給与引当金について説明させていただきます。おそらくバランスシートをご覧になってのご意見だと思いますが、現在、平成19年度分まで公表しているバランスシートは、総務省の旧方式の発生主義会計に基づくもので、現時点で全員が退職するといくら必要かということを試算しているものであり、役場の現金主義会計とは少し異なります。

次に、4点目の平成20年度のバランスシートが掲載されていないという件についてですが、現在作業中です。ただし、国が公会計制度の導入を呼びかけており、平成20年度決算については改訂モデルを使用しており、やり方が従来と異なります。改訂モデルでは、一般会計と特別会計を含めた連結についても出てきますし、バランスシートだけでなく4つの調書が出るようになっています。作成でき次第、公表させていただきたいと思います。

**質問者** ただ今の回答は、総合計画ではそこまで考えていないという趣旨かと思いますが、中期の計画を立てるにあたって資金の裏付けが必要になってくると思います。それに伴って、町債や基金、退職金の支払いなどを考えないわけにはいかないと思うのですが、その点はどのようにお考えなのでしょうか。

また、補助金については、確かに平成16年度に1割減額されていますが、さらなる見直しについてはこれから検討するというのでは、行財政改革への真剣さが感じられないのですが、いかがでしょうか。

**総合政策部長** 総合計画については、基本構想、基本計画、実施計画の3つの柱から構成されており、基本構想と基本計画の段階では具体的な方針は示していませんが、具体的にどのように実施していくのかということに記載する実施計画の策定にあたっては、財源内訳等を十分に留意していきたいと思います。

また、補助金については、各種団体の性格や必要性、公共性を精査する必要がありますが、補助金と連動して使用料手数料の問題があります。補助金交付団体が、例えばこのふれあいセンターを利用する場合、減免なり免除をしている団体もありますので、補助金交付団体については減免の割合と使用料について見直しを行うなど、現在検討を重ねています。今後、住民の皆様にも、こうした情報をお知らせしていきたいと考えています。

**質問者** 10月の議会で、議員から事業仕分けを実施してはどうかという提案があったと思いますが、事業仕分けを行うという前向きな回答はなかったと思います。補助金の問題だけではなく、全体の事業にわたって仕分けを行ってはいかがでしょうか。

**総合政策部長** 事業仕分けについてですが、本年10月の議会で議員からご指摘をいただきましたが、現時点では必要性について、今後の検討課題にしていくと答弁しました。事業仕分けの手法については、現在さまざまな議論がありますので、国の状況などを検証して、よいところがあればその手法

を取り入れて実施していきたいと考えていますが、もう少し課題整理にお時間をいただきたいと思  
います。

**質問者** 町長にお尋ねしますが、地方自治体においては様々な形で事業仕分けを既に行われている  
と思いますので、島本町としてどのようにしていけばいいのか、どのようにお考えでしょうか。

**町長** 興味深い検討課題であると考えていますが、申し訳ありませんが今週に議会があり、一般質問  
の中でも事業仕分けが出ていますので、ここでの具体的なご回答は控えさせていただきます。重  
要性は十分に理解していますのでよろしくお願いします。

**質問者** 先ほどの各部局からの報告で、第一幼稚園の幼保一元化について、民生部と教育委員会双方  
の立場から触れていましたが、過去一年間に、教育委員会と民生部はどのような打ち合わせをさ  
れたのか、双方から聞かせてください。

**民生部長** 幼保一元化についてですが、平成 20 年度については、庁内の関係部局と検討を行いました。  
平成 21 年度においては、住民の皆様への説明を行いながら、現在 6 回程度の調整を行ってい  
ます。具体的な幼保一元化については、さらに進めていかなければならないと考えていますので、  
今後も十分に検討していきたいと思ます。

**教育次長** 民生部長がお答えしたとおり、最近も行いましたが、保護者への説明会についての協議も行っ  
ています。それに合わせまして、民生部と打ち合わせをしながら、今後の方向性を協議しています。

**質問者** 今回の資料を見ても、一体どういう姿を目標として、それをいつ行うかということに触れておらず、  
今後どのようにしていくのかというイメージが見えません。仕事に対する危機感がないのではないで  
しょうか。先ほど総務部の勤務評定についての説明がありましたが、そうした点をきっちり評価でき  
るようにしていただきたいと思ます。例えば、幼少中一貫教育の推進に関しては、どのような姿を  
イメージして、いつ行うのでしょうか。

**教育次長** いつというご質問ですが、現時点で明確に申し上げることはできません。ただ、いつから実施す  
るということを住民の皆様にお伝えしなければならない時期にきていると認識していますので、出来  
るだけ早い時期に決め、お示ししていきたいと考えています。

**質問者** 事業に何年もかかるのは理解していますが、その進捗状況をきちんと把握、評価できるようにして

いただきたいと思います。次回の資料では改善をお願いします。

**質問者** 1点目に、配布資料4ページの人件費の推移を見ると、どんどん下がっていますが、どのぐらいを限度に考えているのか教えてください。また、この人件費の減少は、正職員の数が減り、臨時職員が増えているからなのかどうか分かりませんが、一人当たりの給料がどのようになっているのかも教えてください。というのも、あまりにも給料が下がり過ぎると、職員の気迫がなくなるといいますので、心配をしています。

2点目に、ISO14001に関して、本年度に4施設で認証を取得したということですが、取得するにもお金がかかると思うのですが、自主的な取組みに移行するなど、ISO14001についても一度考えてはいかがでしょうか。環境対策は、水、電力、廃棄物を抑えられればよいのであって、あまりややこしいことをすると職員の仕事が増えますので、いらぬところに職員の労力を使う必要はないと思います。

3点目に、学校のエアコンに関して、以前議会において、ふれあいセンターにエアコンをつけるか学校につけるかで議論をしているのを聞きましたが、現在の気温を考えると、エアコンを付ける必要があるのではないかと思います。町として教育を重視していかなければならないと考えますが、今後の教育についてお聞かせください。

**総務部長** 1点目の人件費についてですが、平成10年度から20年度の間で、退職金を除いて10億5,000万円減額しています。これは職員の数が減少したことが大きく反映されており、この10年間で77人減少しています。平成10年度では327人の正職員がいましたが、平成20年度では250人となり、現時点では240人となっています。

また、人件費減少の原因が職員の減少だけかというそうではなく、民間の給料と合わせて公務員の給料はどうかという国の人事院勧告というものが出されるのですが、それに基づき、給料が減少している状況です。また、正職員の減少に伴い、臨時職員が徐々に増加しており、現在250人程度の方に頑張ってもらっています。

ご指摘のとおり、職員の元気、活気、やる気等については、給料と関係する部分も多いと思います。ここ数年、ずっと給料が下がっている状態ですので、頑張っている職員については評価し、処遇にも反映していきたいと思いますので、一般職員への勤務評定制度の導入については、組合と

も十分協議していきたいと思います。

**質問者** 臨時職員の賃金は人件費に入っているのですか。

**総合政策部長** 臨時職員の賃金については人件費ではなく、別の費目に含まれます。

なお、環境マネジメントシステムについては、ご指摘のとおり認証取得に費用がかかりますので、他の自治体でもいったん取得した後で自主的な取組みに切り替えるという動きもありますし、エコアクションプランなど、違う種類の認証を取得する手法もあります。今後、見直しについて検討していきたいと思います。

**質問者** 認証の更新にもお金がかかりますので、自主的な取組みに移行してしてもらいたいと思います。また、町だけが取得していても意味がなく、町内の企業などの取組みも重要です。そうした企業などの取組みについても、広報等を通じてPRしていただきたいと思います。

**教育長** 教育の大切さについては、町長も十分認識しています。現状では、まず耐震化を第一として進めながら、学校の空調の整備についても教育委員会として要望を進めていきたいと思います。

**質問者** 子どもたちのために、教育に力を入れていることを示していただきたいと思います。

**質問者** 1点目に、配布資料7ページから13ページの「各部局の主要な施策・事業内容」について、事業内容と成果が記載されていますが、事業にかかる金額も記載していただいた方がよいと思います。また、平成20年度決算に係る施策は、ほとんどが「実施」という区分ですが、実施できていない項目があれば教えていただきたいと思います。

2点目に、16ページ「10、子育て支援」項目の保育所運営に関する決算額が、山崎保育園運営助成の金額とあまり変わらないのですが、これは第一保育所と第二保育所の合計額ということでしょうか。また、18ページの「14、学校教育」項目の「幼児教育」の預かり保育について、平成20年度決算では減少しているのですが理由を教えてください。次に、21ページの平成21年度予算の「経済危機対策」項目について、総額1億1,404万円の内訳を教えてください。また、同項目内に「地球温暖化対策」として、「ふれあいセンター空調改修事業」がありますが、本当に地球温暖化対策として効果があるのか教えてください。

3点目に、来年度も職員をたくさん採用するようですが、配置はどのように考えているのでしょうか。先ほどの説明で、町立第二保育所の民営化は、保育士確保が困難なため運用できないとい

うことでしたが、職員の採用をしているのなら、保育所への配置もできるのではないのでしょうか。

4 点目に、町のホームページについてですが、自宅にパソコンがあり、インターネットが接続されている人は閲覧できますが、見られない人もたくさんいると思うので、ホームページと同じような内容を駅前に掲示するなど、コストがかからない方法でしていただきたいと思います。

**総合政策部長** 1 点目の資料の表現についてですが、金額などの記載についても工夫していきたいと思っています。また、事業の中で、実施できた事業は「実施」、できていない事業は「継続中」と記載していますが、この資料には代表的なものだけ記載しており、その他の事業の中には実施できていないものもあります。この点についても、今後工夫していきたいと思っています。

また、配布資料 21 ページの、平成 21 年度予算の「経済危機対策」の内訳についてですが、ふれあいセンター空調改修事業に 4,000 万円、生活関連道路バリアフリー化、都市公園等施設整備、新型インフルエンザ対策に 3,494 万円、清掃工場施設補修事業、小中学校の電子黒板機能付きデジタルテレビ設置に 3,910 万円となっています。

**民生部長** 配布資料 16 ページの保育所運営の金額については、人件費を除く町立保育所 2 園の運営費となっています。

**教育次長** 配布資料 18 ページの幼稚園の預かり保育については、平成 20 年度が 148 万円、平成 19 年度が 291 万円となっておりますが、これは平成 19 年度において預かり保育を行う部屋の空調等の整備を行いましたので、平成 19 年度の方が多くなっています。

**総務部長** 本年度実施した、ふれあいセンターの空調改修事業についてですが、従来ガス式だったものを電気式に交換しており、これにより、CO2 が大きく削減されるということで、地球温暖化対策の項目に入れていきます。

また、来年度の新規採用職員の配置先はまだ決まっていますが、今回は事務職として採用しています。

また、ホームページの内容などを駅に掲示してはどうかということですが、情報量が膨大ですので、掲示できるかどうか思案しているところです。なお、職員の事務改善提案で、来庁者にホームページを見ていただけるように役場 1 階の文化・情報コーナーにパソコンを設置してはどうかという提案も出ており、役場にパソコンを設置して住民の方にも PR していきたいと考えています。

**質問者** 現在、第四次総合計画の策定作業をしていますが、住民への説明会は開催されていないと聞いています。住民参加の行政運営のためにも、基本計画については住民への説明をしていただきたいと思います。

**総合政策部長** 検討していきたいと思います。

**質問者** 住民説明会を開催することに何か問題があるのでしょうか。

**総合政策部長** 特に問題はありません。ただ、住民参加の手法としては、パブリックコメントを総合計画基本構想においても実施しており、審議会委員にも公募委員の方に入っています。ただいまのご意見も真摯に受け止め、検討していきたいと思います。

**質問者** JR西側について、地権者への説明会が先週初めて行われたという状態ですので、住民の説明はきちんと行っていただきたいと思います。総合計画の審議会を進めていくという説明がよく出てきますが、審議会を進めていくというだけでは、どれだけ費用がかかっているか分かりません。

**総合政策部長** 審議会の費用は、委員の方の報酬となっています。

## 6. 閉会

**司会** 以上で、本日の説明会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

<終了>